

2021 年度

# 事業報告書

2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

公益財団法人 日本補助犬協会

2021年度は、長引くコロナ禍により、啓発活動を中心に多くの活動が制限された。このような状況の中、オンラインセミナー・ミーティングを積極的に活用し、これまで対面では出来なかった遠距離の方々への働きかけを行うことができた。

補助犬育成関係では、初めてオンラインによる身体障害者補助犬認定審査会を、啓発関係では、もっと知って補助犬キャンペーンの柱である「補助犬フォーラム」をオンラインにて実施した。

また、昨年度に引き続きクラウドファンディングを行い、多くの支援を得ることができた。

社会情勢が混乱し不確定要素が多く、また、自然災害が頻発する状況の中、事業継続のため、オンラインの活用、安定的経営のためのクラウドファンディングの定例化の他、補助犬育成体制整備のため研修生の増員等を行った。

## 公益事業実施状況

### 補助犬育成・貸与・認定事業

#### 1. 補助犬(及び候補犬)の育成・認定及び貸与

次のとおり、補助犬5頭の育成・認定を行い希望する身体障害者に貸与した。

##### 1) 当協会が育成・認定した補助犬

盲導犬 2頭 山梨・神奈川(3月28日認定予定)

聴導犬 3頭 千葉・東京・新潟(タンDEM)

##### 2) 身体障害者補助犬認定審査会開催状況

次のとおり1回開催した。

令和4年3月6日 認定頭数 3頭 (聴導犬3頭)

※内1頭はオンラインによる認定

#### 2. 補助犬ユーザー(使用者)に対するフォローアップ

補助犬ユーザーと補助犬の生活の質及び補助犬作業の質の向上を図るため、次のとおりフォローアップを行った。

##### 1) フォローアップ

・全補助犬ユーザーからの定期報告書および補助犬健康診断書の提出(4月～5月)

・盲導犬ユーザーに対するフォローアップ

来所・訪問 5人 延べ 18日

電話・メール 14人 32回

・介助犬ユーザーに対するフォローアップ

来所・訪問	6人	延べ	19日
電話・メール	9人		43回
・聴導犬ユーザーに対するフォローアップ			
来所・訪問	12人	延べ	33日
メール・FAX	20人		49回

## 2) 補助犬希望者の相談業務

- ・盲導犬希望者の相談 2人 延べ 3回
- ・介助犬希望者の相談 6人 延べ 13回
- ・聴導犬希望者の相談 4人 延べ 7回

## 3. 補助犬候補犬の導入並びに繁殖、関連事項

### 1) 補助犬候補犬、繁殖犬導入

海外の盲導犬協会より候補犬4頭を導入した。

### 2) 聴導犬候補犬確保のための外部からの導入

国内の補助犬育成団体より1頭の候補犬を導入した。

国内の支援法人より1頭の候補犬を導入した。

## 4. パピーの育成

パピーファミリー(仔犬飼育ボランティア)に委託している将来補助犬になり得る仔犬の飼育は、「社会化」と「月齢に応じたきめ細かいしつけ方」についてパピーの発達段階毎のサポートを行った。

### ・ 委託状況

7頭

### ・ サポート方法

電話、メール、しつけ教室の開催、訪問等

電話・メール相談 72回

しつけ教室の開催 22回

訪問 5回

### ・ 繁殖件数 1件

## 5. 引退犬の支援

19頭の引退犬に対して協会医療室にて健康管理をサポートすると同時に引退犬ボランティアに対して老犬に対する飼育相談等を行った。

- ・医療室の利用 8件

- ・来所・訪問 30回
- ・電話・メール相談 71回
- ・医療費支援
- ・介護用品の貸し出し

## 6. 職員の養成

職員に対し、日々のOJTとともに月1回の手話教室を実施した。また、当協会が主催する心のバリアフリーオンラインセミナー(全9回)を全職員が受講し、知識の向上を図った。

## 補助犬啓発関係

### 1. 「第9回もっと知って補助犬キャンペーン」

- ・期間 令和3年12月1日～令和4年3月31日
- ・テーマ ～持続可能な社会を目指して～

#### 1) 第5回補助犬フォーラム(オンライン)の開催(令和4年3月24日)

- ・午前の部 心のバリアフリー勉強会
- ・午後の部  
〈第一部〉基調講演(東京大学 准教授 星加 良司氏)  
〈第二部〉パネル・ディスカッション

#### 2) オンラインセミナーの開催

- 第1回(1月20日) 補助犬の基礎知識
- 第2回(1月27日) 人と動物の共生社会
- 第3回(2月3日) 身体の不自由方への接遇・コロナ禍での接遇ポイント
- 第4回(2月10日) 災害時の対応(避難所、他)
- 第5回(2月17日) OTD普及協会プログラムクイズ&ギャンブルゲーム
- 第6回(2月24日) 心のバリアフリー1 障害の社会モデル
- 第7回(3月3日) 心のバリアフリー2 合理的配慮
- 第8回(3月10日) 職場における合理的配慮の実例
- 第9回(3月17日) アンコンシャスバイアス

#### 3) あなたの提案による取り組み

- ・大塚商会特別社員「介助犬ケイ君」の本社への定期的訪問の実施

## 2. 企業・団体等における取り組み

イオンペット株式会社との共同の取り組みを行った。

- ・もっと知って！ほじょ犬イベント(令和3年10月9日、イオンモール幕張新都心店)
- ・もっと知って！ほじょ犬イベント(令和3年11月11日、イオンモール大和店)

下記団体の施設見学を受入れた。

- ・市沢小学校ジュニアボランティア(令和3年11月13日)

## 3. 学校教育における取り組み

下記学校において「補助犬セミナー」を開催した。

- ・法政大学(令和3年7月6日)

下記学校において、オリンピック・パラリンピック推進教育及び「心のバリアフリー」普及を目的とした補助犬介在授業を実施した。

- ・品川区立京陽小学校(令和3年11月25日)
- ・豊島区立高松小学校(令和3年11月30日)
- ・豊島区立池袋第三小学校(令和4年1月21日)

## 4. 一般市民を対象とする取り組み

下記イベントにおいて補助犬啓発活動を行った。

- ・身体で聴こう音楽会(令和3年9月19日、戸塚公会堂)
- ・藤沢市青少年体験学習事業(令和3年10月16日、藤沢市長久保公園)
- ・募金箱設置出発式(令和3年11月5日、横浜市都岡郵便局)

## 5. パンフレット・会報の作成・配布

当協会の組織概要・事業実施状況等に関する情報を発信することにより知名度の向上、支援者の発掘等を図るためパンフレット等を作成・配布した。

- ・パンフレットの配布

当協会のサポーター制度・寄付金の使途等に関するパンフレットをイベント等で配布した。

- ・会報の作成・配布

当協会の活動状況等について報告することにより、賛助会員及び募金箱設置の継続率向上、ひいては運営費の安定供給を図るため、会報「につぼけん通信」第21号を8,000部作成し、賛助会員、募金箱設置店、協力企業・団体に送付した。

## 6. SNS の充実・活用

ホームページの他、Facebook では協会の活動を中心に掲載した。また、インスタグラムを活用し、補助犬の日常生活の一コマを中心に写真・動画を掲載し身近な存在として補助犬を理解してもらえるよう情報発信の充実に努めた。また、Facebook で、クラウドファンディングの広告を行った。

## 7. マスメディア等での情報発信

補助犬の認知向上や当協会の活動内容を知っていただくため、積極的にマスメディアの取材に応じ情報発信を行った。

## 子供の情操教育活動

東日本大震災被災地の小・中学校を中心に、東北地方の介助犬ユーザー、ボランティアが下記場所を訪問し、子供の情操教育活動を行った。

- ・紫波総合高等学校(令和3年6月22日)
- ・盛岡市立山岸小学校(令和3年9月14日)
- ・金ヶ崎町立西小学校(令和3年9月28日)
- ・金ヶ崎町立第一小学校(令和3年10月19日)
- ・盛岡市立本宮小学校(令和3年11月11日)
- ・金ヶ崎町立永岡小学校(令和3年11月16日)

## 運営上の課題解決に向けた取り組み

### 経営会議の開催

円滑な組織運営を推進するため経営会議を 10 回開催した。

## その他

### 1. 横浜市との連携

「人と動物との共生推進よこはま協議会」委員として協議会に参画した。

2. 日本ヒルズコルゲート株式会社から社員派遣、および協会在所犬のドッグフードの提供を受けた。

### 3. クラウドファンディングの実施

クラウドファンディング 2021「補助犬育成サポートプロジェクト」を実施し、556 名の方から 10,780,000 円の寄付収入を得た。

◆ 収益事業実施状況

商品販売事業

1. 補助犬チャリティー商品の制作・販売  
ボランティアの協力を得て補助犬チャリティー商品を制作し、オンラインで販売した。
2. 自動販売機設置  
訓練センターに設置した自動販売機の売り上げに対する手数料収入及び募金型自動販売機からの収入を得た。

【参考】

◇理事会開催状況

開催年月日	主な決議事項
2021年6月8日	2020年度事業報告及び収支予算書の承認について 規程の改廃について
2021年9月28日	2020年度収支決算書の修正について
2022年3月16日	2022年度事業計画書及び収支予算書の承認について 規程の改廃について

◇評議員会開催状況

開催年月日	主な決議事項
2021年6月23日	2020年度収支決算書の承認について
2021年10月20日	2020年度収支決算書の修正について(決議の省略による)

◇職員に関する事項

2022年3月31日現在職員在籍状況(理事含む)

部署	職種	常勤			非常勤			計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
管理部門	総務・経理	1	0	1	0	0	0	1	0	1
補助犬育成 部門	指導員	0	3	3	0	0	0	0	3	3
	訓練士	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	研修生	0	3	3	0	0	0	0	3	3
	獣医師・トリマー	0	0	0	1	1	2	1	1	2
企画推進部門	企画推進	1	0	1	0	0	0	1	0	1
普及啓発部門	広報・啓発	1	0	1	0	0	0	1	0	1
計		3	6	9	1	1	2	4	7	11

注) 業務委託、派遣社員含む

◇施設の状況

1)所在地 横浜市旭区矢指町 1954-1～2

2)敷地面積 (単位 m<sup>2</sup>)

訓練センター	955,64
認定試験センター	498,50
計	1454,14

3)建物 (単位 m<sup>2</sup>)

区分	構造	延床面積	主な施設
訓練センター	木造2階建て	497,70	事務室、ミーティングルーム、ケネルブリーディングルーム、グルーミングルーム、共同訓練用居室(4室)、食堂、厨房、浴室、多目的ルーム
認定試験センター	木造平屋建て	188,79	犬用医療室、グルーミングルーム、多目的ルーム